

地熱資源が豊富な

秋田県湯沢市と再生可能エネルギーを活用した 地域活性化に関する連携協定を締結しました

横浜市は、2050年までの脱炭素化「Zero Carbon Yokohama」の実現に向けて、地球温暖化対策・エネルギー施策を強化し、持続可能な大都市モデルの実現に向けた取組を進めています。

これまでに再生可能エネルギー資源を豊富に有する15市町村と再生可能エネルギーに関する連携協定を締結してきました。取組を強化するため、このたびは秋田県湯沢市と再生可能エネルギーを活用した地域活性化に関する連携協定を締結しました。

本協定により、再生可能エネルギーに関する連携を進めるとともに、地域の活力を最大限に発揮する「地域循環共生圏（※）」の理念に基づき、脱炭素社会の実現を目指して取り組んでいきます。

※ 地域循環共生圏：各地域がその特性に応じた地域資源を生かし、自立・分散型の社会を形成しつつ、近隣地域と地域資源を補完し支えあうことで、地域を活性化させるための考え方。第五次環境基本計画（平成30年4月閣議決定）にて提唱

1 連携協定について

（1）概要

横浜市の再生可能エネルギーの創出ポテンシャルは、2050年の市内電力消費量の約10%と試算され、再生可能エネルギーへ転換するためには、広域連携による市域外からの供給が必要不可欠です。

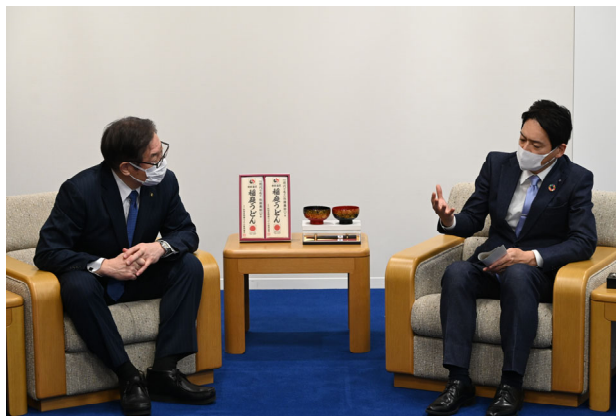
そこで、横浜市は、昼夜を問わず安定した発電を行うことができる地熱資源を豊富に有する秋田県湯沢市と「地域循環共生圏」の考え方に基づき、連携協定を締結しました。

連携協定の締結にあたり、山中 竹春 横浜市長と佐藤 一夫 湯沢市長が、会談を行いました。

■会談の様子（令和5年1月26日（木））



【左】佐藤湯沢市長 【右】山中横浜市長



会談の様子

(2) 連携内容

湯沢市と横浜市は、脱炭素社会の実現を目指しながら、再生可能エネルギーの活用を通じた地域活性化の取組を推進するため、以下の事項について、相互に連携をして取り組んでいきます。

- (1) 再生可能エネルギーの活用を通じた産業振興及び地域経済の活性化に関すること
- (2) 再生可能エネルギーの創出・導入・利用拡大に関すること
- (3) 脱炭素化の推進を通じた住民・地域企業主体の相互の地域活力の創出に関すること
- (4) 脱炭素化の推進に向けた人材育成や知識蓄積に関すること
- (5) 再生可能エネルギー及び地域循環共生圏の構築に係る国等への政策提言に関すること

2 湯沢市について

(1) 概要

人口：41,568人 世帯数：17,597世帯（2022年11月末現在）

湯沢市は、山形県、宮城県に隣接する秋田県の南東部に位置しています。隣接する両県とは国道13号、108号及び398号で結ばれており、秋田県の南の玄関口となっています。東方の奥羽山脈、西方の出羽丘陵に囲まれた横手盆地を貫流する雄物川と、その支流である皆瀬川、役内川沿いに豊かな水田地帯を形成しています。県境付近の西栗駒一帯は、雄大な自然林を有しているほか、豊富な温泉群にも恵まれています。

平安時代の歌人「小野小町」生誕の地と伝えられ、小町の郷ではその歴史をたどることができるほか、夏の夜を彩る七夕絵どうろうまつりや、豪雪地帯ならではの冬の民俗行事犬っこまつりなど、連綿と受け継いできた湯沢の文化や歴史に触れる四季折々の伝統行事があります。特産品としては、日本三銘うどんと称される「稲庭うどん」や老舗の酒蔵が醸す銘酒、三関のさくらんぼや三関せりなど、全国に誇る食の数々に加え、約800年もの歴史と伝統をもつ川連漆器をはじめ川連こけしや曲木家具など伝統の技が光る工芸品があります。



(2) 再生可能エネルギーについて

湯沢市は、小安峡温泉、秋の宮温泉郷、泥湯温泉などが市内に点在する“いで湯の宝庫”です。

火山列島である日本は、このような地下の熱資源に恵まれ、世界第3位の資源量を有していますが、湯沢市が位置する西栗駒一帯は、日本でも有数の地熱賦存地帯と言われています。

東日本大震災以降、再生可能エネルギーの普及促進が図られており、湯沢市では自然環境との調和を図りながら、地域固有の資源である地熱の活用を積極的に推進しています。

湯沢市内では昭和40年代から国や民間企業による地熱発電に向けた調査が行われており、平成6年から上の岱地熱発電所が稼働しています。また、令和元年5月に山葵沢地熱発電所が営業運転を開始しています。

そして、かたつむり山発電所が令和8年度、木地山地熱発電所が令和11年度の稼働に向けて準備を進めているほか、矢地ノ沢地域においても事業化に向けた調査が行われています。



わさびざわ
山葵沢地熱発電所

お問合せ先

温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長 松下 功 Tel 045-671-2636